

ブラショフ市との交流年表

年	月	内 容
平成3年 (1991)	11月	ルーマニア国立ジョルジュ・ディマ交響楽団指揮者曾我大介氏（武蔵野市出身）が武蔵野市長を訪問し、楽団への支援を要請。武蔵野市、立川市、府中市、秋川市（現あきる野市）の4市共同での招聘実行委員会発足の機運が高まる。
平成4年 (1992)	7月	「ルーマニア国立ジョルジュ・ディマ交響楽団招聘実行委員会」発足。
	9月	同交響楽団来日。市民4,000名（4市合計）がコンサート鑑賞。ボランティア100名（4市合計）参加。4市市民がリコーダー3,200本をブラショフ市へ寄贈。来日公演を機に、武蔵野市民が「武蔵野ブラショフ市民の会」を結成。
平成5年 (1993)	8月	武蔵野市民文化交流団（団長：武蔵野市長）が、ブラショフ市を訪問。日本文化紹介イベント2日間開催（武蔵野市児童絵画展、ガーデンパーティ（焼鳥、ラーメン紹介）、盆踊り大会、書道、着付け、剣道、華道、折り紙など）。
平成6年 (1994)	2月	ブラショフ市長が来日し、MIA（武蔵野市国際交流協会）日本語教室を視察。ブラショフ市での日本語教室開催を武蔵野市長に要請。
	9月	ブラショフ市日本語教室に関する基本協定を締結。
	9～10月	ブラショフ少女合唱団「カメラータ・インファンティス」を武蔵野市、三鷹市、小金井市、田無市（現西東京市）、保谷市（現西東京市）、調布市、小平市の7市合同招聘。7市でコンサート開催（小中学生とのジョイントコンサート、ホームステイ、文房具をブラショフの孤児院へ寄贈）。
平成7年 (1995)	6～9月	第1回ブラショフ市日本語教室開催（日本語交流員2名派遣）。
	8月	武蔵野市民視察交流団がブラショフ市を訪問（弦楽器修理者派遣、写真展開催、日本語教室視察）。
	9月	武蔵野市長がブラショフ市を訪問し、日本語交流員派遣事業成果視察。常陸宮殿下同妃殿下のブラショフ市日本語教室ご視察を迎える。 武蔵野ブラショフ市民の会がブラショフ市を訪問し、日本文化紹介イベントを開催。
	9～10月	トランシルヴァニア・ヴィルトゥオーゾ室内管弦楽団（ジョルジュ・ディマ交響楽団の若手精鋭によるユニット）来日。武蔵野市と武蔵野市友好都市（大崎町（現大崎上島町）、小国町（現長岡市）、酒田市、遠野市、川上村）で公演。武蔵野市で小中学生を対象に音楽教室開催。
平成8年 (1996)	6～8月	第2回ブラショフ市日本語教室開催（日本語交流員2名派遣）。 第1回日本語教室修了者3名を武蔵野市に招聘。
平成9年 (1997)	6～8月	第3回ブラショフ市日本語教室開催（日本語交流員2名派遣）。 第2回日本語教室修了者3名を武蔵野市に招聘。

	8月	武蔵野市民交響楽団がブラショフ市を訪問。ジョルジュ・ディマ交響楽団と合同コンサート開催。
平成10年 (1998)	3月	ブラショフ市長来日。日本武蔵野交流センター基本協定締結。
	6～7月	第3回日本語教室修了者3名を武蔵野市に招聘。
	8月	日本武蔵野交流センター開設に合わせて武蔵野市長、市議会議員、市民団がブラショフ市を訪問。日本文化紹介イベント5日間開催（野点、盆栽、着付け、組み紐、折り紙、書道、絵手紙、空手、生け花、盆踊り）。
	9月	ルーマニア少年少女合唱団、武蔵野公演。
	10月	ルーマニア・ブラショフ県知事一行、来日。
	11月	トリオ・ブラショフ、チャリティーコンサート。
	12月	在日ルーマニア大使館より、ルーマニアと日本との友好関係促進に寄与した功勞に対し、武蔵野市長と武蔵野ブラショフ市民の会理事長へ感謝状授与。
平成11年 (1999)	1月	ルーマニア日本友好議員連盟会長、来日。
	4月	ルーマニア観光公社代表（前ルーマニア観光大臣）来日。
	8月	武蔵野市内に本拠をおく NPO「プロジェクト HOPE ジャパン（国際医療支援機関）」が、ブラショフ市内の病院に医療機器を寄贈。 武蔵野市内に事務所をおく NGO「ACTION international（世界の子供たちの生活環境向上を支援する団体）」が、ブラショフ市でワークキャンプを行い、セントラル・パラサメント孤児院を支援。
	12月	改築工事のため閉鎖されていた日本武蔵野交流センター再オープン。
平成12年 (2000)	1月	日本武蔵野交流センター協力員を派遣。
	3月	プロジェクト HOPE ジャパンが、ブラショフ市内の病院に医療調査団を派遣。
	4月	武蔵野ブラショフ市民の会が、ブラショフ市から大学生を約1ヵ月半招聘（1人目）。
	8月	ACTION international が、ブラショフ市で2回目のワークキャンプを行い、セントラル・パラサメント孤児院を支援。
	9月	ブラショフ市立産婦人科病院に医療機関用洗濯機を寄付するための募金運動がおこる。「ブラショフの赤ちゃんに洗濯機を贈る会」設立。
	11月	ブラショフ市民との交流・協力活動を行なっている団体や個人が集まり、「武蔵野・ブラショフネットワーク会議」を設立。定期的に情報交換を行う。
平成13年 (2001)	2月	ブラショフ市立産婦人科病院に医療機関用洗濯機を寄付。ルーマニア大使を招き、武蔵野市内で贈呈式を開催。
	3月	トランシルヴァニア・ヴィルトゥオーゾ来日、音楽会を開催。

	5月	武蔵野ブラショフ市民の会が、ブラショフ市から大学生を約2ヵ月間招聘(2人目)。
平成14年 (2002)	4月	武蔵野市・ブラショフ市交流10周年記念式典を開催。
	4~5月	みやこうせい写真展「ルーマニア賛歌」を開催。
	5月	武蔵野ブラショフ市民の会及びMIAがブラショフ市から日本語研修生を約2ヶ月間招聘(3人目)。招聘した研修生を講師として、武蔵野市民向けのルーマニア紹介及びルーマニア語交流教室を開催。
	6月	糸操り人形一座「結城座」の派遣公演をブラショフ市及びブカレスト市にて実施。 武蔵野市民交響楽団が「ルーマニアの夕べ」と題した演奏会を開催。 プロジェクトHOPEジャパンがブラショフ市内に「IT(情報技術)センター」をオープン。講師を派遣し、IT教室を開始。 ACTION internationalが、武蔵野市民を中心に寄贈されたぬいぐるみや人形をルーマニアの子供たちに寄贈。
	7~8月	ブラショフ市内でMIAが夏期日本語教室を開催(日本語交流員2名派遣)
	8月	武蔵野市長、市議会議長及び議員団、市民団がブラショフ市で行なわれたITセンターオープニングセレモニー、武蔵野市・ブラショフ市交流10周年記念式典へ参加
平成15年 (2003)	5~6月	武蔵野ブラショフ市民の会がブラショフ市から社会人を招聘(4人目)。
	6~7月	日本武蔵野交流センター移設。規模及び機能を拡大し、日本語教室とITセンターも移設の上、名称を「日本武蔵野センター」とする。
	7~9月	日本武蔵野センター職員が日本語及び日本文化研修のため来日。
	9月	ブラショフ市国際交流部長来日。
	11月	日本武蔵野センターに日本語教師を派遣(市嘱託職員)。
平成16年 (2004)	3月	武蔵野市職員が集めた日本の教科書を日本武蔵野センターへ寄贈
	4月	ルーマニア国会議員団、武蔵野市来訪
	8~10月	武蔵野ブラショフ市民の会がブラショフ市から大学生を招聘(5人目)。
	11月	武蔵野市助役、交流事業担当部長、日本武蔵野センター活動視察。1998年の第一協定の覚書を追加締結。
平成17年 (2005)	1月	日本武蔵野センター・パネル展開催(1/18~2/10 市役所1階ロビー)。
	3月	日本武蔵野センター講演会「日本から見たルーマニア、ルーマニアから見た日本」開催。
	6月	愛知万博「ルーマニア・ナショナルデー」への市民交流ツアー実施。 ルーマニア国立混声合唱団「マドリガル」武蔵野公演。
	8~9月	武蔵野ブラショフ市民の会がブラショフ市から大学生を招聘(6人目)。

	8月	～ルーマニア料理を囲んで～「ブラショフを知る会」開催。
	9月	グレルーシュ氏によるルーマニア友好リサイタル「フルーツが奏でるルーマニア」を開催。
	12月	「ルーマニアとの今後の交流のあり方を考える市民懇談会」設置。
平成18年 (2006)	1月	駐日ルーマニア大使、武蔵野市来訪。
	3月	「ルーマニアとの今後の交流のあり方を考える市民懇談会報告書」が提出される。
	7～9月	日本武蔵野センター職員が日本語及び日本文化研修のため来日。
	7月	日本武蔵野センター活動報告会「日本武蔵野センター職員とルーマニアを語る会」－友好都市ブラショフ市日本武蔵野センター 所長の報告－開催。
	8月	ブラショフ市「日本武蔵野センター」パネル展開催（8/16～22、市役所エレベーターホール前）。 日本武蔵野センター職員と武蔵野市民有志による「ブラショフ市の難病の姉妹を支援する募金活動」。吉祥寺駅前での街頭募金実施（9/2～3）。
	9月	武蔵野市議会議員団（議員7名）でルーマニア・ブラショフ県ブラショフ市等を10月2日～7日（6日間）の日程で訪問。表敬訪問、難病姉妹救済募金贈呈式、日本武蔵野センターでの市民との交流等を行った。
	10～12月	武蔵野ブラショフ市民の会がブラショフ市から大学生を招聘（7人目）。
	12月	日本武蔵野センター活動報告会「ルーマニアってどんな国」－友好都市ブラショフ市、東欧ルーマニアの生活・教育・子育て事情－開催。
平成19年 (2007)	1月	日本語教師（第2代市嘱託職員）派遣。
	5～6月	武蔵野ブラショフ市民の会がブラショフ市から大学生を招聘（8人目）。
	7月	日本武蔵野センター活動報告会「大きく変わりゆくルーマニア」－友好都市ブラショフ市日本武蔵野センター所長の報告－開催（所長、日本語教師、在日ルーマニア人講演）。
	12月	日本武蔵野センター活動報告会「変革期に入ったルーマニア」－友好都市ブラショフ市日本武蔵野センター所長の報告－開催（所長、日本語教師、市内在住ルーマニア人講演）。
平成20年 (2008)	5～6月	武蔵野ブラショフ市民の会がブラショフ市から大学生を招聘（9人目）。
	8月	日本武蔵野センター活動報告会「東欧ルーマニアの実情」－友好都市ブラショフ市日本武蔵野センター所長の報告－開催。
	9月	日本語教師（第3代市嘱託職員）派遣
	12月	日本武蔵野センター活動報告会「激動の東欧ルーマニアと交流活動報告」－友好都市ブラショフ市日本武蔵野センター所長の報告－開催。

平成21年 (2009)	2月	日本武蔵野交流センター協力員（第7代所長）を派遣。
	5~6月	武蔵野ブラショフ市民の会がブラショフ市から大学生を招聘（10人目）。
	8月	ルーマニア現地報告会「東欧ルーマニア交流活動報告会」－友好都市ブラショフ市日本武蔵野センター所長の報告－開催。
	10月	日本武蔵野センター、ブラショフ市役所庁舎内に移転。開所式に武蔵野市副市長参加。
	12月	ルーマニア現地報告会「東欧ルーマニア交流活動報告」－友好都市ブラショフ市日本武蔵野センター所長の報告－開催。
平成22年 (2010)	5月	日本武蔵野センター職員が日本語及び日本文化研修のため来日。
	5~6月	武蔵野ブラショフ市民の会がブラショフ市から社会人を招聘（11人目）。
	7月	日本武蔵野センター活動報告会「東欧ルーマニアの実情」－友好都市ブラショフ市日本武蔵野センター所長の報告－開催。
	12月	日本武蔵野センター基本協定を改定。 日本武蔵野センター協力員（第7代所長）退任。
平成23年 (2011)	1月	日本武蔵野センター協力員（第8代所長）をブラショフ市民から採用。
	3月	日本武蔵野センター書道作品、ルーマニア民芸品等展示会開催（3/7～3/18 市役所正面玄関ショーウィンドー）。東日本大震災へ ブラショフ市、市議会、市民から義援金が贈られる。
	6月	ブラショフ市主催の東日本大震災チャリティーコンサートへ第9回吉音コンテストグランプリの nutmeg 派遣。
	8~9月	日本文化紹介ボランティアを派遣。
	9~10月	武蔵野ブラショフ市民の会がブラショフ市から社会人を招聘（12人目）。
平成24年 (2012)	1月	派遣日本語教師交代（第4代市嘱託職員）派遣。
	2月	武蔵野市、ブラショフ市交流20周年を記念し、駐日ルーマニア大使が武蔵野市に来訪。
	4月	武蔵野市、ブラショフ市交流20周年を記念し、武蔵野市長がブラショフ市を訪問。
	10月	武蔵野市、ブラショフ市交流20周年を記念し、ブラショフ市長・市議会議員団が武蔵野市に来訪。 武蔵野ブラショフ市民の会がブラショフ市から社会人を招聘（13人目）。
平成25年 (2013)	3月	派遣日本語教師交代（第5代市嘱託職員）派遣。
	4月	ブラショフ市副市長引率するブラショフ市青少年訪問団（団員4名）が武蔵野市を訪問。
	5月	武蔵野ブラショフ市民の会がブラショフ市から社会人を招聘（14人目）。
平成26年	1月	日本武蔵野センター所長が日本文化研修のため来訪。

(2014)	9～10月	武蔵野ブラショフ市民の会がブラショフ市から社会人を招聘（15人目）。
平成27年 (2015)	1月	ルーマニア現地報告会「武蔵野センター交流活動報告」開催。
	9～10月	武蔵野ブラショフ市民の会がブラショフ市から社会人を招聘（16人目）。
	10月	駐ルーマニア大使が赴任前に武蔵野市長訪問。 第三基本協定締結のため、武蔵野市長がブラショフ市を訪問。
	12月	ブラショフ県立図書館長来日、中央図書館、プレイスを視察。 ルーマニア現地報告会「活動報告及びルーマニア観光DVD、パンフルート演奏」開催。
平成28年 (2016)	1月	東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会にむけ、ルーマニアのホストタウンに登録。
	3月	日本語教師（第6代市嘱託職員）派遣。
	4月	桜まつりに駐日ルーマニア大使初めて参加。
	8月	市内東急百貨店にてルーマニアフェア開催（開会式に駐日ルーマニア大使参加）。
	9～10月	武蔵野ブラショフ市民の会がブラショフ市から社会人を招聘（17人目）。
平成29年 (2017)	4月	武蔵野市、ブラショフ市友好交流25周年を記念し、武蔵野市副市長・議長・交流事業担当部長・職員がブラショフ市を訪問。
	6月	ブラショフ・フィルハーモニー交響楽団と共演の友好と平和の第九市民合唱団結成。
	8月	武蔵野ブラショフ市民の会及び武蔵野市が日本武蔵野センター研修生2名を招聘（18、19人目）。
	11月	武蔵野市、ブラショフ市友好交流25周年を記念し、ブラショフ市副市長及び議員団9名が来訪。 ブラショフ・フィルハーモニー交響楽団55名を招聘。 市制施行70周年記念 武蔵野市・ブラショフ市友好交流25周年記念コンサート。 「武蔵野市友好と平和の第九 ルーマニア・ブラショフ・フィルハーモニー交響楽団」公演開催。
	12月	武蔵野市・ブラショフ市友好交流25周年記念レセプション開催。
平成30年 (2018)	7～8月	武蔵野ブラショフ市民の会及び武蔵野市が日本武蔵野センター研修生1名を招聘（20人目）。
	9月	ルーマニア・ブラショフ市へ文化交流市民団29名を派遣。 ブラショフ市にて「日本・武蔵野フェスティバル」開催。 ブラショフ・フィルハーモニー交響楽団シーズン開幕コンサートに市民団のうち合唱団員15名が参加し共演。
令和元年 (2019)	1月	ルーマニア・パラリンピック選手団6名を招聘（ルーマニア・パラアスリート募金を活用）。
	7月	ブラショフ少女合唱団「カメラータ・インファンティス」出身のソプラノ歌手が武蔵野市を訪問し交流会を開催。
	7～8月	武蔵野ブラショフ市民の会及び武蔵野市が日本武蔵野センター研修生1名を招聘（21人目）。

令和2年 (2020)	1月	ブラショフ市から文化交流市民団（日本武蔵野センター3名、ブラショフ市公募1名）4名を招聘。
	1～2月	ルーマニア人アーティスト1名を招聘。
	7月	新型コロナウイルス感染症の影響により、研修生受け入れ中止。
令和3年 (2021)	7月	新型コロナウイルス感染症の影響により、研修生受け入れ中止。 東京2020大会に出場するルーマニア選手団にむけて応援動画公開。
	8月	ルーマニア・オリンピック組織委員会のスタッフと面会し記念品交換。
	8～9月	選手村滞在中のルーマニア・パラリンピック選手団とオンラインで交流する「ホストタウンムサシノ ルーマニア×武蔵野 オンライン交流会」開催。
令和4年 (2022)	4月	「武蔵野市・ブラショフ市市民交流に関する協定書」を締結。
	8月	青少年オンライン交流を開催。高校生・大学生武蔵野市7名、ブラショフ市10名参加。